



② 収益力向上

- ・新工場稼働などによる生産能力向上
- ・新業務システム導入などによる生産性・業務効率向上
- ・リードタイム短縮などによる収益性向上
- ・CCC（キャッシュ・コンバージョン・サイクル）短縮など資産効率向上

③ サステナブル経営推進

- ・事業を通じた社会問題解決（気候変動への対応/ダイバーシティ等への取組みなど）
- ・利益創出に向けた基盤強化（ガバナンスの強化/人的資本の活性化など）

(4) 今次中期経営計画の期間目標

① 定性目標

- ・グローバルニッチトップのポジション確立
- ・次なる成長ドライバー事業の創出
- ・持続的成長の基礎となる収益力向上
- ・持続的成長を支える経営基盤整備
- ・持続的成長を牽引する人財活性化

② 定量目標

	2025年6月期（実績）	2028年6月期（最終年度）
売上高	210億円	300億円
営業利益	21億円	38億円
営業利益率	10.0%	12%
ROE	3.1%	17%

※本資料に記載されている戦略、目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

# 中期経営計画

---

## 説明資料

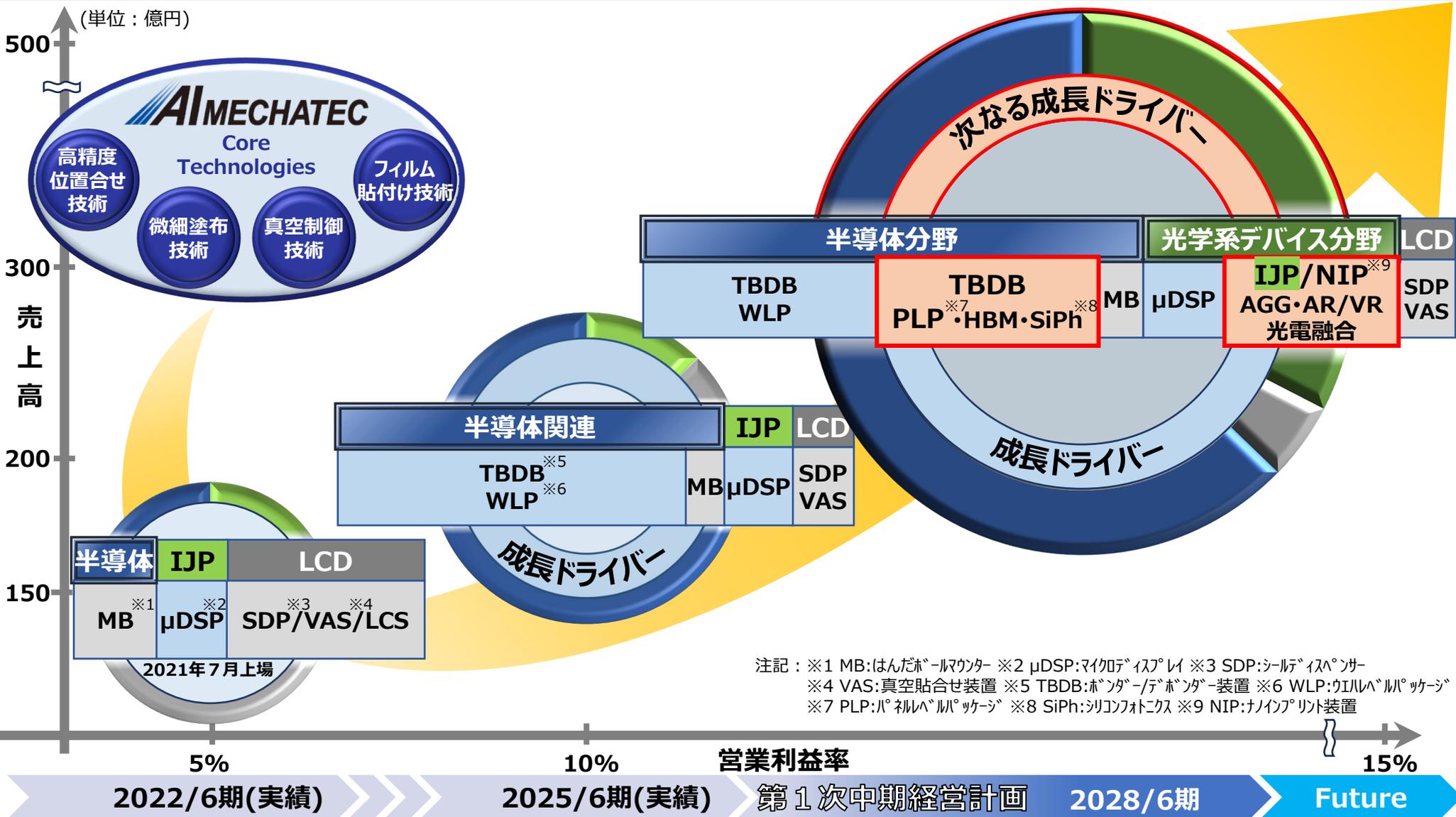
2025年8月8日

AIメカテック株式会社

先進・革新技术で未来を創造

# 1. グローバルニッチトップを目指す A I メカテック

お客様や社会のニーズに即した事業領域を創出し続け成長する「グローバルニッチトップ」



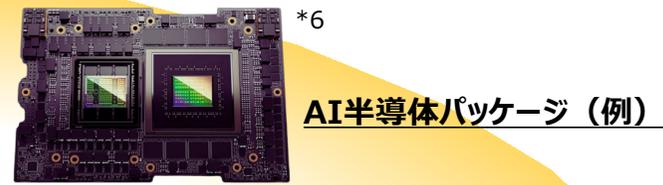
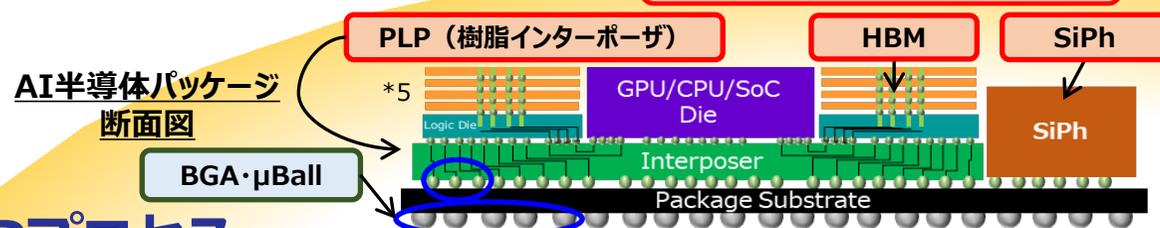
## 2-1 TB/DB 先端半導体の需要拡大と先端パッケージ技術の進化を捉えた新事業領域の展開



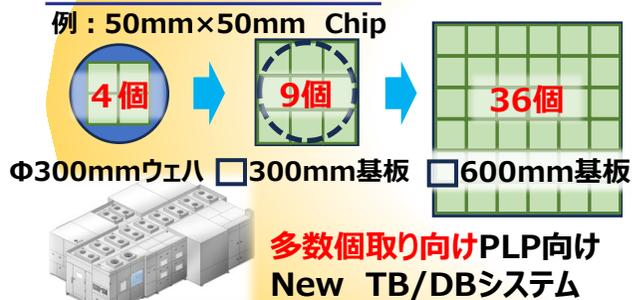
- ✓生産効率向上
- ✓コストダウン
- ✓薄型・低発熱・高速
- ✓低発熱・低消費電力

- ➡ ① **PLPプロセス**
- ➡ ② **バンプレスHBM**
- ➡ ③ **シリコンフォトニクス (SiPh)**

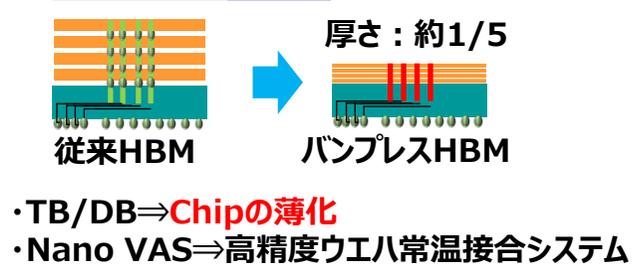
### 次なる成長ドライバー



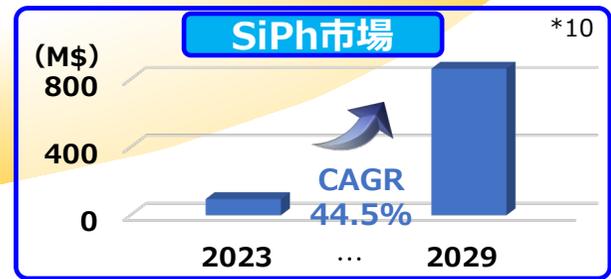
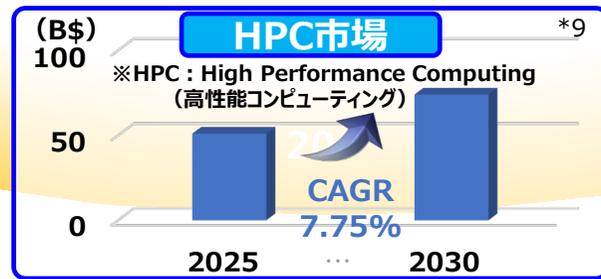
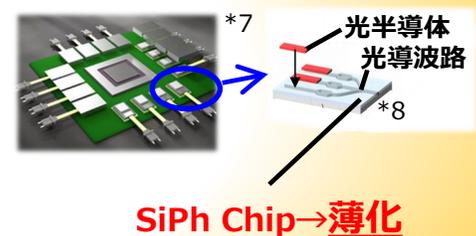
### ① PLPプロセス



### ② バンプレスHBM



### ③ シリコンフォトニクス (SiPh)



## 2-2 IJP+NIP 空間コンピューティング技術進化と光通信ネットワーク進化の動きを捉えた新事業領域の展開



- ✓ モバイルディスプレイ反射抑制
- ✓ ARグラス普及拡大
- ✓ 高速・大容量通信

- ➡ ① アンチグレアガラス (AGG)
- ➡ ② ARグラス マイクロディスプレイ
- ➡ ③ ARグラス ウェーブガイド
- ➡ ④ 光電融合 (光通信ネットワーク)

### 次なる成長ドライバー

#### ① アンチグレアガラス (AGG)

AGG無      \*1 AGG有

表面ざらつき 約1/6

IJP+NIPシステム

- ② ARグラス マイクロディスプレイ
- ③ ARグラス ウェーブガイド

OLEDos      \*4  
μLEDos      \*5  
マイクロディスプレイ      \*6

ウェーブガイド

ウェアラブルODF※  
封止システム

NIPシステム  
(ウェーブガイド)

※ ODF(One Drop Fill) :  
当社のCore Technologyを適用したパネル製造法

#### ④ 光電融合 (光通信ネットワーク)

LCoS (マイクロディスプレイ技術応用)

光信号分配

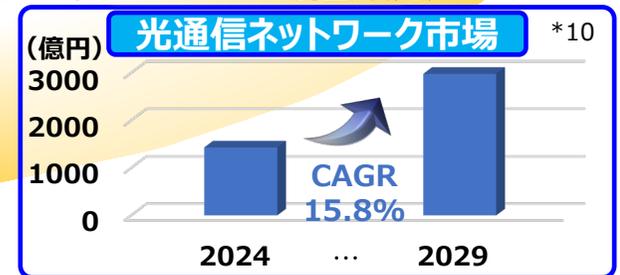
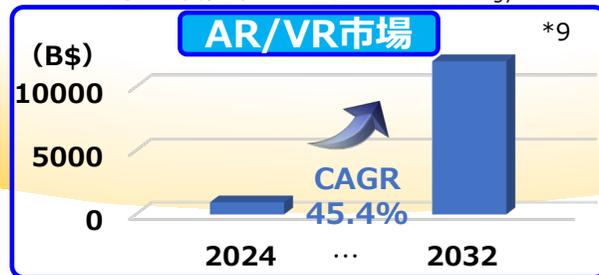
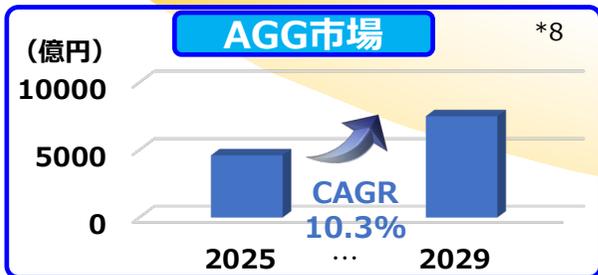
サーバー

光ファイバ

WSS※光通信Unit(例)

※ WSS(Wavelength Selective Switch) :  
マイクロディスプレイ技術を応用した光信号分配技術

LCoS向けODF※  
封止システム



## 「モノづくり力強化」「社会ニーズに即した事業領域の拡大」「お客様とのリレーション強化」による持続的成長

### 経営理念

#### 「先進・革新技术で未来を創造」

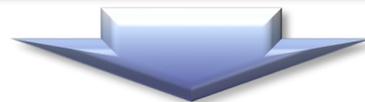
Create the Next by  
Advanced and Innovative  
technologies

### 経営方針

- ✓ 「モノづくり力強化」 お客様の要望を迅速に具体化し、他に先んじて高品質な製品を提供する、不断のモノづくり力強化
- ✓ 「社会ニーズに即した事業領域の拡大」 半導体・光学系デバイス分野の技術革新を捉え、お客様や事業パートナーとともに、当社コア技術を活かし、社会に求められる新たな用途、事業領域を開拓
- ✓ 「お客様とのリレーション強化」 きめ細かなLCS（ライフサイクルサポート）活動によるお客様の満足度向上

### 基本戦略

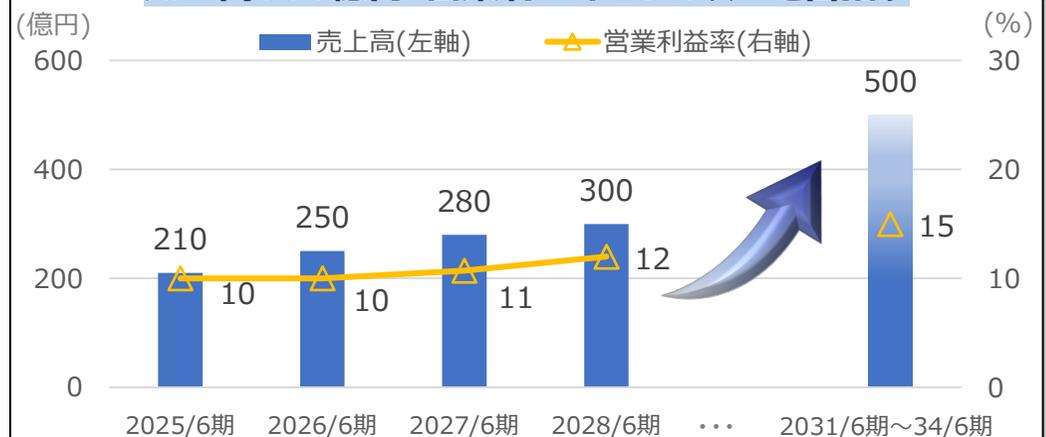
- ✓ **A-PI戦略や、協業・M&Aなどによる、事業領域拡大・持続的成長**  
※A-PI(Advanced Process Integration)戦略
- ✓ **モノづくり力強化による、収益力向上**
- ✓ **サステナブル経営推進による、企業価値向上**



### 当社のありたい姿

- ✓ お客様に、確かなソリューション提供力を評価・支持され、新たな取り組みにあたり、常に**1番に声がかかる会社**
- ✓ 半導体、光学系デバイス分野における**グローバルニッチトップの会社**
- ✓ 従業員がプライドを持って能動的に働き、**自らの成長、仲間の成長を実感できる会社**
- ✓ 人々の生活を、より安全・安心・便利で豊かにすることで、**社会に貢献し続ける会社**

### 売上高500億円・営業利益率15%以上を目指す



## グローバルニッチトップのポジション確立と、売上高300億・営業利益率12%・ROE17%以上の達成

### 定性目標

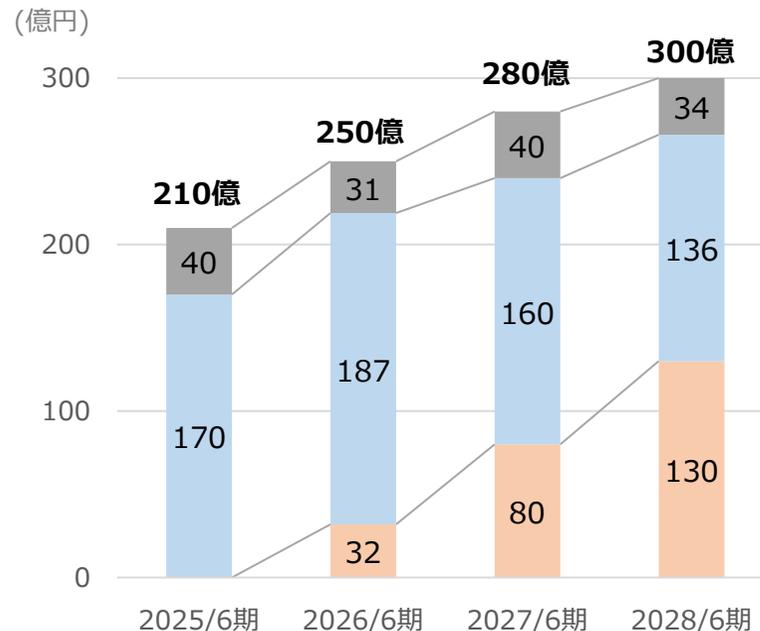
- ✓ グローバルニッチトップのポジション確立
- ✓ 次なる成長ドライバー 事業の創出
- ✓ 持続的成長の源泉となる収益力向上
- ✓ 持続的成長を支える経営基盤整備
- ✓ 持続的成長を牽引する人財活性化

### 定量目標

売上高(セグメント別)・収益指標 (単位: 億円)

	2025/6期	2026/6期	2027/6期	2028/6期
<b>売上高</b>	210	250	280	300
<b>半導体関連</b>	195	200	202	207
I J P / L C D	15	50	78	93
<b>営業利益 (率)</b>	21(10.0)	25(10)	32(11)	38(12)
<b>ROE (%)</b>	3.1	14	16	17

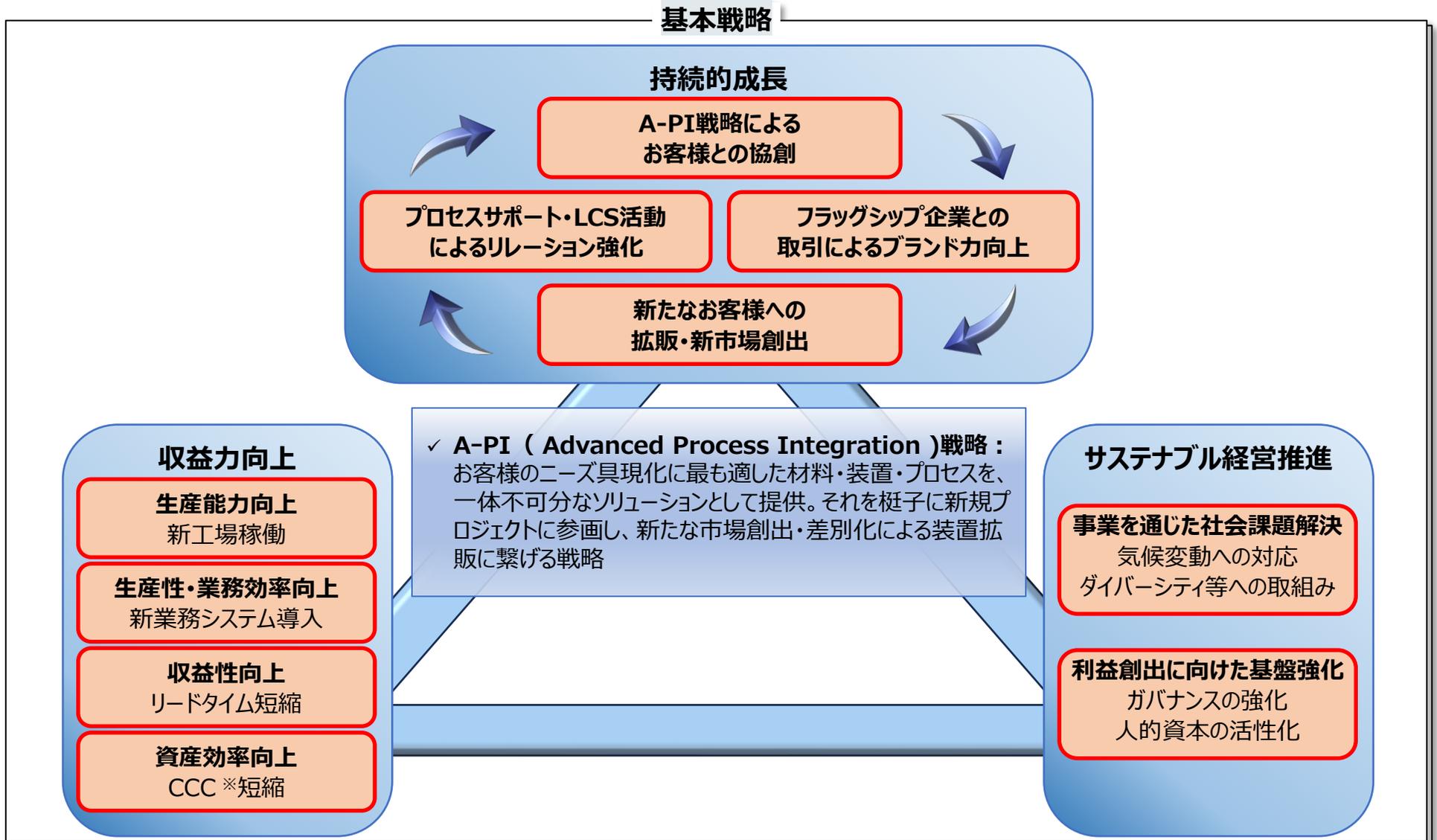
売上高(成長ドライバー別)



■ 成長ドライバー ■ 次なる成長ドライバー ■ 従来装置(MB、プラズマ、LCD、AS)

事業分野	成長ドライバー	次なる成長ドライバー
<b>半導体分野</b>	・TB/DB(WLP)	・New TB/DB(PLP, HBM, SiPh) ・Nano-VAS
<b>光学系デバイス分野</b>	・マイクロディスプレイ向けシステム	・光デバイス(AGG/ウェーブガイド等) ・ODF応用製品向けシステム(調光パネル等)

## 目標達成に向け、持続的成長を支えるサイクル、収益力向上、サステナブル経営を一体で推進

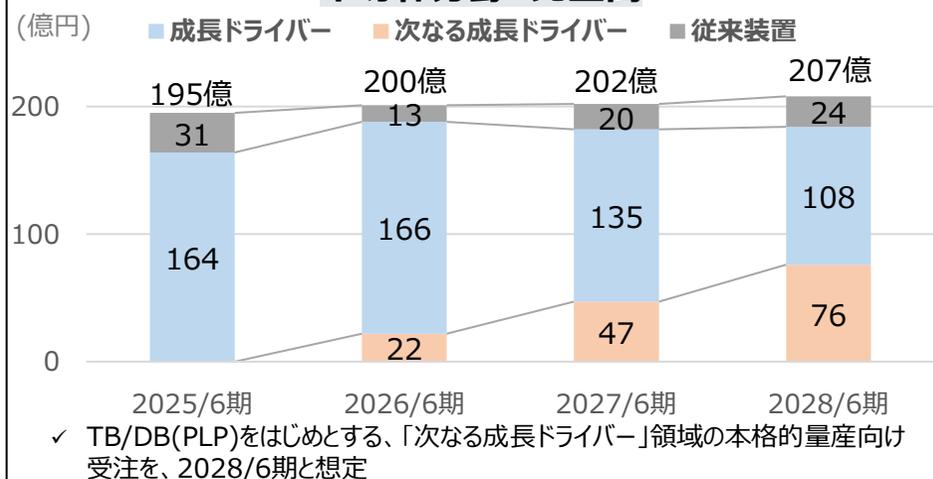


## 量産投資ニーズの着実な捕捉と、お客様との協創による先進的ソリューションの開発・新市場創出

### 半導体分野

- TB/DB(WLP)
  - ✓ フラグシップ企業向けの円滑な出荷、装置立上げ
  - ✓ ブランド力向上・新機能提案による新規拡販
- TB/DB(PLP、HBM、SiPh)
  - ✓ パイロットシステム受注先(フラグシップ企業等)における着実なプロセス評価対応、量産向け受注確保
  - ✓ 受注実績を活かしたデモ対応強化による新規拡販
- 米国等における販売・サポートチャネル確立
  - ✓ お客様の投資計画を踏まえ、アライアンスによる進出検討

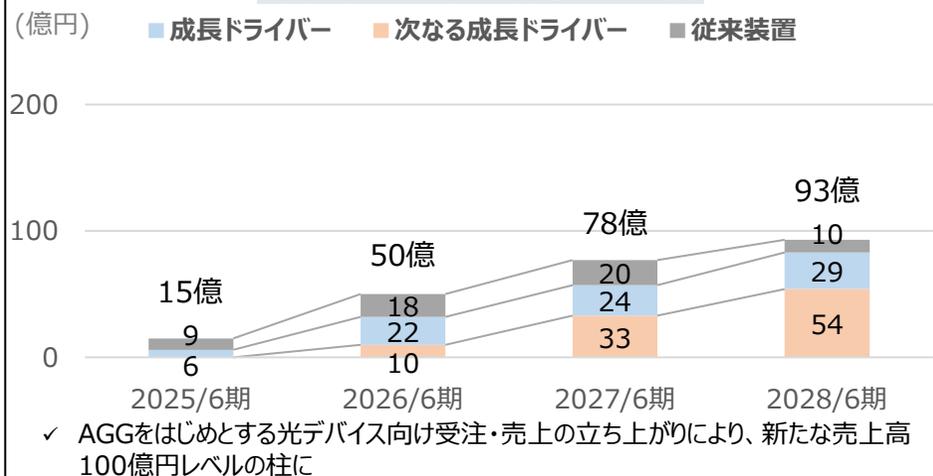
### 半導体分野 売上高



### 光学系デバイス分野

- マイクロディスプレイ向けシステム
  - ✓ デファクトスタンダード技術を梃子とする、最終デバイス市場拡大に沿った投資需要の着実な捕捉
- 光デバイス(AGG/ウェーブガイド等)向けシステム
  - ✓ フラグシップ企業の量産スケジュールに沿った着実な開発推進、受注確保
  - ✓ A-PI戦略展開による多角的な量産プロセス開発・提案や、合併会社 NLTとの協働による、新規プロジェクト参画、受注確保
- 新たな販売チャネルによる中華圏の市場開拓
  - ✓ SiPhデバイス向け新プロセスのマーケティング、既存事業積み上げ

### 光学系デバイス分野 売上高



## 新工場の円滑な立ち上げ、リードタイムの短縮などにより収益力を向上

### 収益力向上

#### 生産能力向上

- ✓ 新工場の円滑な立ち上げ
- ✓ マルチベンダー体制の構築
- ・組立委託先/完成外注先の拡大
- ✓ 多能工化推進による柔軟な生産体制拡充

#### 生産性・業務効率向上

- ✓ 新業務システムの導入
- ・生産管理、財務管理、購買管理の効率化
- ✓ IT基盤の整備
- ・データの見える化、クラウド化推進

#### 収益性の向上

- ✓ リードタイムの短縮
- ・内製化、協力会社との一体運営推進
- ・装置設計標準化推進による製造性の向上
- ・現地立ち上げ能力向上による作業時間短縮
- ✓ 装置横断的な部材調達推進

#### 資産効率の向上

- ✓ 運転資本のコントロール
- ・CCC短縮への取組み推進

### サステナブル経営の推進 ※主要な取り組み

#### 事業を通じた社会課題解決への貢献

- ✓ 気候変動への対応/地球環境の保全・環境負荷軽減
- ・専任組織を設置してのサステナビリティ環境推進体制の強化
- ・太陽光発電設備増設による再生可能エネルギー活用拡大
- ・省力化設備導入による工場省エネ化
- ・水資源循環機能付装置導入による環境負荷軽減
- ✓ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン
- ・女性管理職比率向上に向けた基盤整備
- ・海外人財の正規社員採用促進
- ・定年後処遇の選択肢多様化

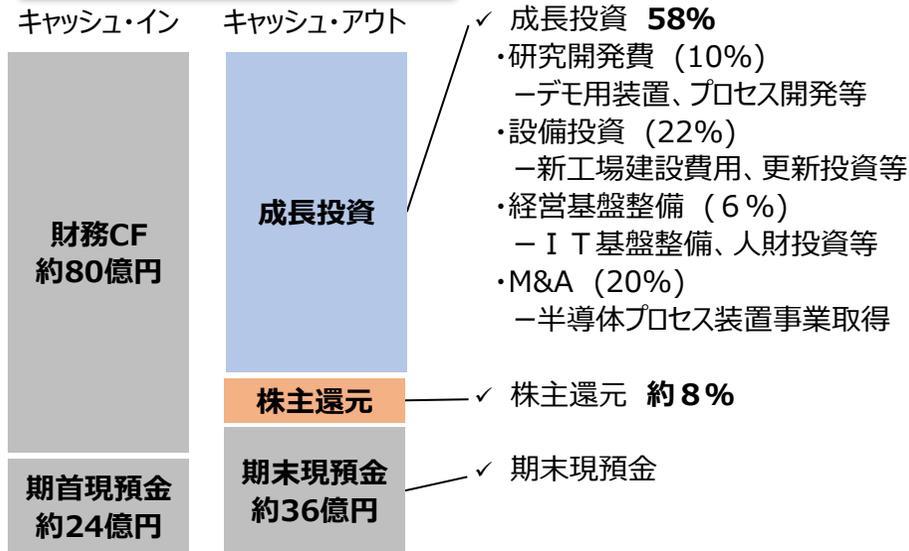
#### 利益創出に向けた経営基盤の強化

- ✓ ガバナンスの強化
- ・リスク/コンプライアンス委員会による重要リスクの把握、対応の徹底
- ・任意の指名委員会設置による持続的経営体制整備
- ✓ 人的資本の活性化/心身の安全衛生
- ・社内公募制導入による組織活性化と従業員モチベーション向上
- ・教育/研修施策の増強による人財能力向上
- ・安全で健康的な職場環境整備によるエンゲージメント向上

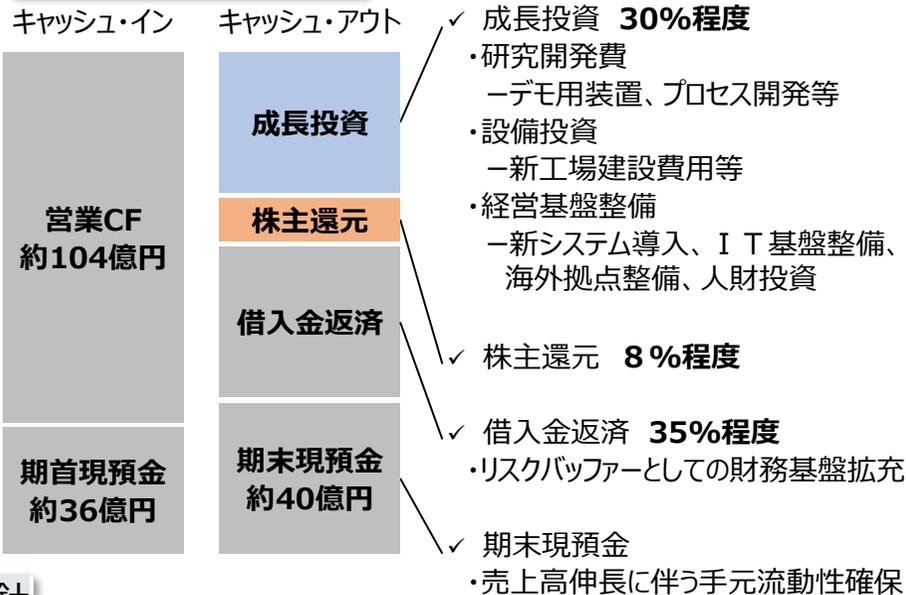


## 企業価値向上に向けた成長投資、財務基盤拡充とのバランスを勘案した、安定・継続的配当

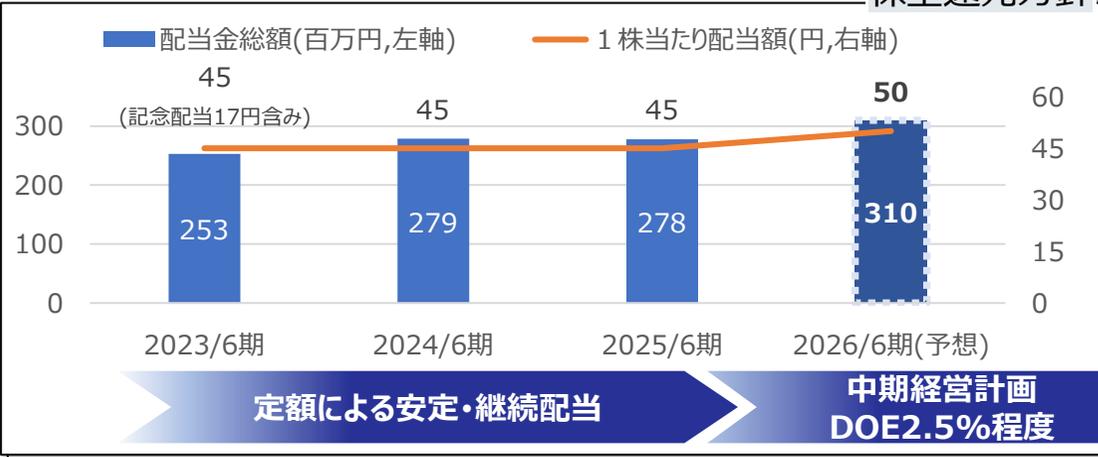
2023-25/6期 実績見込み



2026-28/6期 計画



### 株主還元方針



- ✓ 配当による株主還元
- ✓ 業績や成長投資に必要な内部留保の充実などを総合的に勘案し、安定かつ継続的に配当
- ✓ 株主資本配当率(DOE)2.5%程度を目安として実施



“Create the Next by **A**dvanced and **I**nnovative Technologies”

ご注意事項

本資料に記載されている戦略、目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。